

平成 30 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

1 事業の成果

ユネスコによる世界文化遺産プレアビヒア寺院の維持保全にかかわる活動は、世界遺産指定（2008年7月）から10カ年を経過し、アメリカが参道補修への取組みを表明し開始するなど、関係各国の積極的な協力活動が始まりました。当協会も2009年4月の設立以来、カンボジア政府と協力し世界文化遺産地域の住民生活の自立に向けた支援活動を継続してきておりますが、本年度は現地エコビレッジ地区も幹線道路の拡張が行われ、送電線が配備され、一気に近代化に向かった変化が押し寄せる状況となってまいりました。

本年度の現地活動で特筆すべき事は、乾期灌漑用の大規模配水設備の整備、ビニールハウス方式による農業栽培の試験、エコパーク、および近隣を含む地域の緑化推進などが挙げられるとともに、協会会員有志が現地を訪問し、さまざまな交流が実施されたことにある。

以下、具体的な活動状況を報告する。

（1）植樹活動

今年度が8年目となる植樹活動は、NAPV（National Authority for Preah Vihear）も連携して、エコパーク及び近隣地区の整備にあわせて、将来の地域環境確保を目指し、高木・中木・低木を組み合わせた植樹を推進した。特にエコパークから周囲を結ぶ道路沿いには、ヤシの木を配して、短期間のうちにヤシの木の並木道を実現すべく、村民と共に、植樹活動を実施できた。また、乾期の養生水の大切さを、村民と共に学び、水不足に対応するための、配水施設の整備も実施し、エコパークを中心に活着率の向上に取り組み着実に成果を発揮できるようになってきた。配水設備は樹木のみならず、農作物への適用も可能となり、農業を生活の基盤としてきた地域住民の生活向上にも大きく寄与できるようになった。

（2）農村支援活動

カンボジア政府から当協会に貸与されているエコパーク（12haの土地）では、地域でのパイロットファームとしての役割を果たすため、オーガニック農業の試行に向け、ニワトリの試験育成と堆肥の確保、乾期の水資源確保のための配水タンクの整備や配水パイプネットワークの整備が進み、安定した農業展開の見通しができつつある。当協会は地域住民（農民）の自立を目指し、新規開拓地域が豊かに暮らせるような農村支援活動を目指しており、その一環として、外務省NGO等活動支援事業の導入検討、JICA草の根事業の導入に向けたJICAとの協議を続け、本格的な活動の基礎を確保するに至った。

（3）会員増強活動（含むホームページ刷新）

会員増強活動と同時に当協会のイメージアップを目的として、HPやフェイスブック、ツイッターなどでも情報発信を積極的に実施。HPには会員各位の交流や、協会の情報開示が行えるよう工夫を加えるとともに、現地の状況を会員のみならず社会一般にも紹介できるようなコーナーを設け、好評を博している。さらに、協会活動を会員をはじめ、広く一般にも伝達できるように、広報誌「プレアビヒア」を企画創刊に向けて推進するとともに、活動報告の冊子も発刊するに至った。

(4) 会員による現地訪問と学校支援

協会会員が企画して、エコパーク及び学校を訪問して、サッカーボールを40個贈呈するとともに、サッカー教室を開催し、現地の子供たちと、サッカーを通じた交流が行われました。これまでの活動に加え、子供たちと一緒にサッカーボール通じて、お互いの意思疎通が行われ、協会の活動が、より一層村民に行き渡ることとなるとともに、日本国内でも、プレアビヒアでのサッカー教室としてニュースとなり、協会の知名度向上にもつながりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【8,638】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
アジア地域の遺跡周辺自然環境保全、修復事業	遺跡周辺整備 (遺跡周辺道路の美化活動)	2017年8月～ 2018年2月	カンボジアのアジア周エッジ遺跡、エッジ地区	300人	住民及び訪問観光客	住民5,000人、観光客300,000人	112
	環境保全地域と開発推進地域に関する研究と協議 (コンセプト作成、提案協議、現地調査)	年間	カンボジアのアジア周エッジ遺跡、東京事務所	20人	住民及び訪問観光客	住民5,000人、観光客300,000人	112
植林、植樹、苗木の育成および事前調査事業	植林 (エコパークを中心とした植林)	年間	カンボジアのアジア周エッジ遺跡、東京事務所	100人	住民	5,000人	2,692
地域住民の生活向上のための人材教育、職業訓練、農業支援事業	農村支援、オーガニック農業技術支援事業計画実施の基礎調査実施に向けた地域住民との協議実施	年間	カンボジアのアジア周エッジ遺跡、東京事務所	60人	住民	5,000人	4,740
遺跡並びに周辺地域の観光資源開発支援事業	観光農園コンセプト作成、提案、協議 中長期の事業計画の作成準備	年間	カンボジアのアジア周エッジ遺跡、東京事務所	10人	住民、滞在者 観光客	住民4,000人、滞在者3,000人/月 観光客300,000人/年	149
	観光プログラム開発 エコツアーリズム計画の提案 遺跡ツアー計画の提案	年間	カンボジアのアジア周エッジ遺跡、東京事務所	10人	観光客 雇用者	観光客300,000人/年 20,000人/年 (雇用促進者)	149

子どもたちのための教育支援事業	協会員による教育支援活動（文化遺産・環境保全・スポーツ交流教育）	2018年8月～2019年1月	カンボジア・ポリアンプレヒ地区学校	150人	子供たち	200人	645
日本のNGOと海外NGOとの連絡調整および交流支援事業	・日本及び海外他NGOとのネットワーク作り	年間	カンボジア・ポリアンプレヒ遺跡	40人	NGO関係者、ボリアン青年	1,000人	0
遺跡全般に係る広報事業	広報活動 ホームページ更新 会報誌企画	年間	カンボジア・ポリアンプレヒ遺跡、東京事務所	45人	関心ある一般市民	1,000人	39

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
物品販売事業	なし	なし	なし	なし	0
機関誌等への広告掲載事業	なし	なし	なし	なし	0